

広報

ふじ

NO. 159

49.6.5 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



川へゴミを捨てないで—港はヘドロに変わってゴミの山

充実する心身障害対策

心身に障害のある恵まれない子どもたちに、少しでも明かるい未来をつくってあげたい…。

これまでの心身障害児(者)対策は、施設収容を中心としてすすめてきましたが、最近では、心身障害児(者)を社会復帰させる対策が強く望まれています。

富士市では、市立として全国でもめずらしい、心身障害幼児のための「そびな保育園」をはじめ精神薄弱者授産施設「くすの木学園」を建設

し、心身障害児(者)対策に力をそそいでいます。このほか、市内には全国でも数少ない情緒障害児短期治療施設「県立吉原林間学園」、精神薄弱者更生施設「県立富士見学園」が設置されており、ミニコロニー的環境が整いました。そこで、これらの施設を利用して、幼児から大人までの一貫した教育、指導ができるようになりました。

また、今年度岩倉学園を運営している福祉法人の誠心会が、特別養護

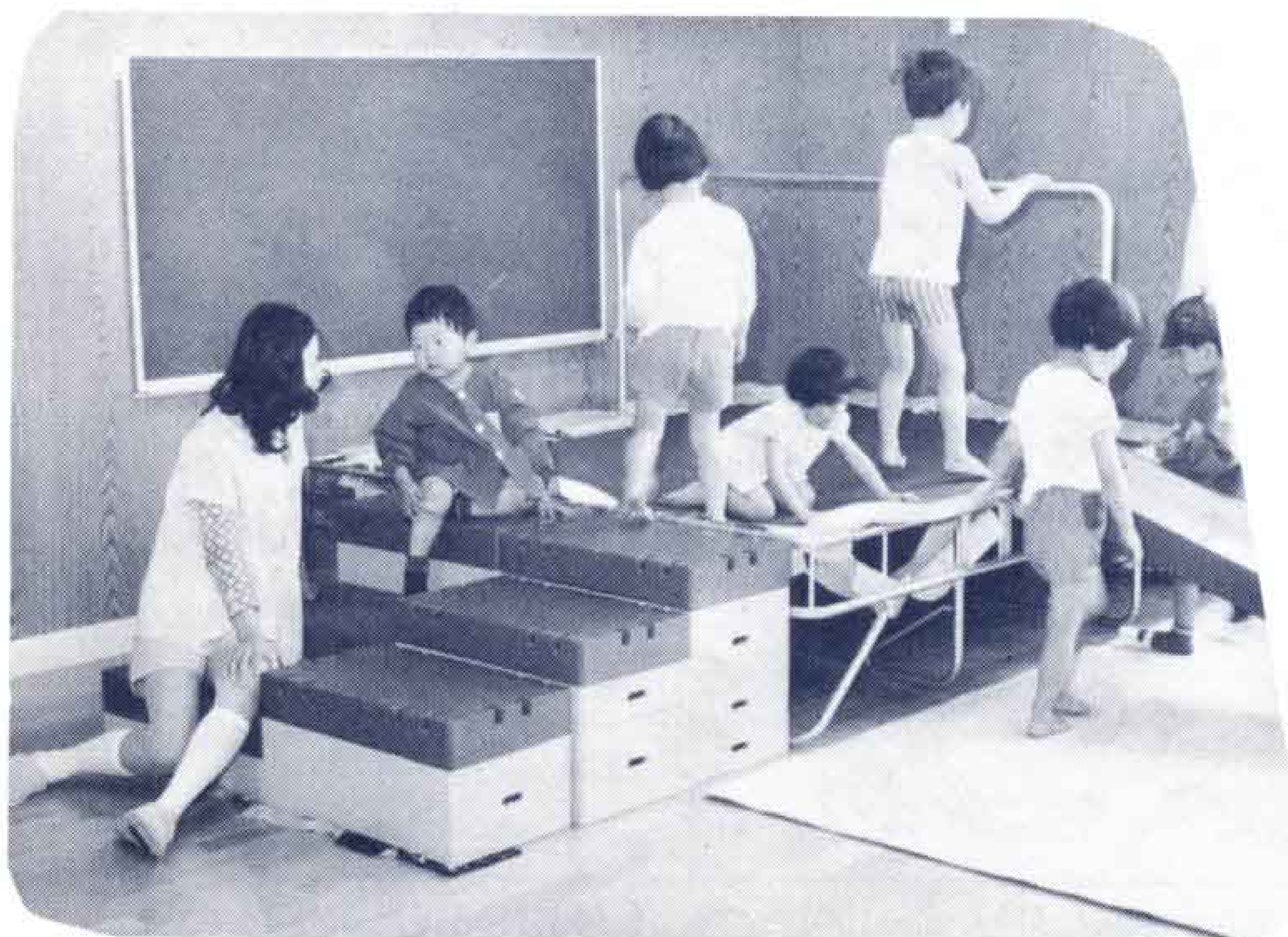
老人ホームの建設を行なうなど、行政と民間福祉法人が力を合わせて取り組んでいます。

なお、市ではこれらの施設を中心に、より充実した心身障害児(者)対策を進めるため、県が東部地区に建設を予定しているコロニーを誘致するため、積極的に県に働きかけています。それでは、各施設のあらましをお知らせいたします。

ふじやま学園

知恵おくれの18才未満の児童を収容する施設で、独立、自活に必要な生活指導や学習指導、治療指導を行なっています。特に入園児の精神的、身体的な障害の特性を考えて言語治療、作業治療、体力づくりを通して機能の開発、体力の増進、情緒の安定をはかっています。収容人員は男女25人ずつの50人です。

施設は管理棟、給食棟、児童宿舎、作業訓練室などがあり、現在、体育館の建設を進めています。なお、この施設は、ハートビル運動によってみなさんから寄せられた善意の基金をもとに、昭和42年に開園しました。



そびな保育園

5月に開園したばかりの施設で、市内の3才から小学校へ入学までの知恵おくれの幼児や、からだの不自由な幼児を通園させて、基本的な生活訓練を主として保育を行なっています。

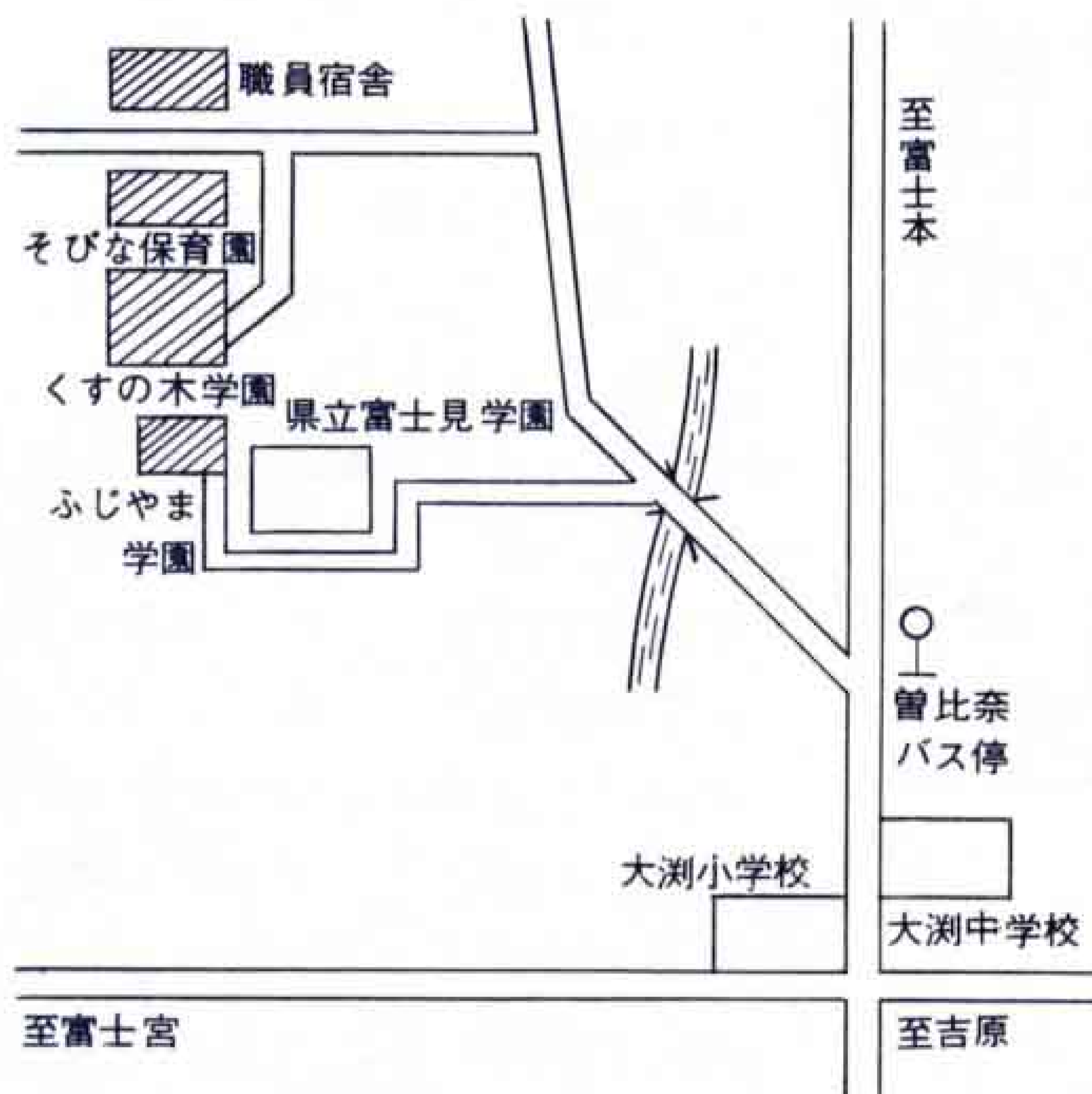
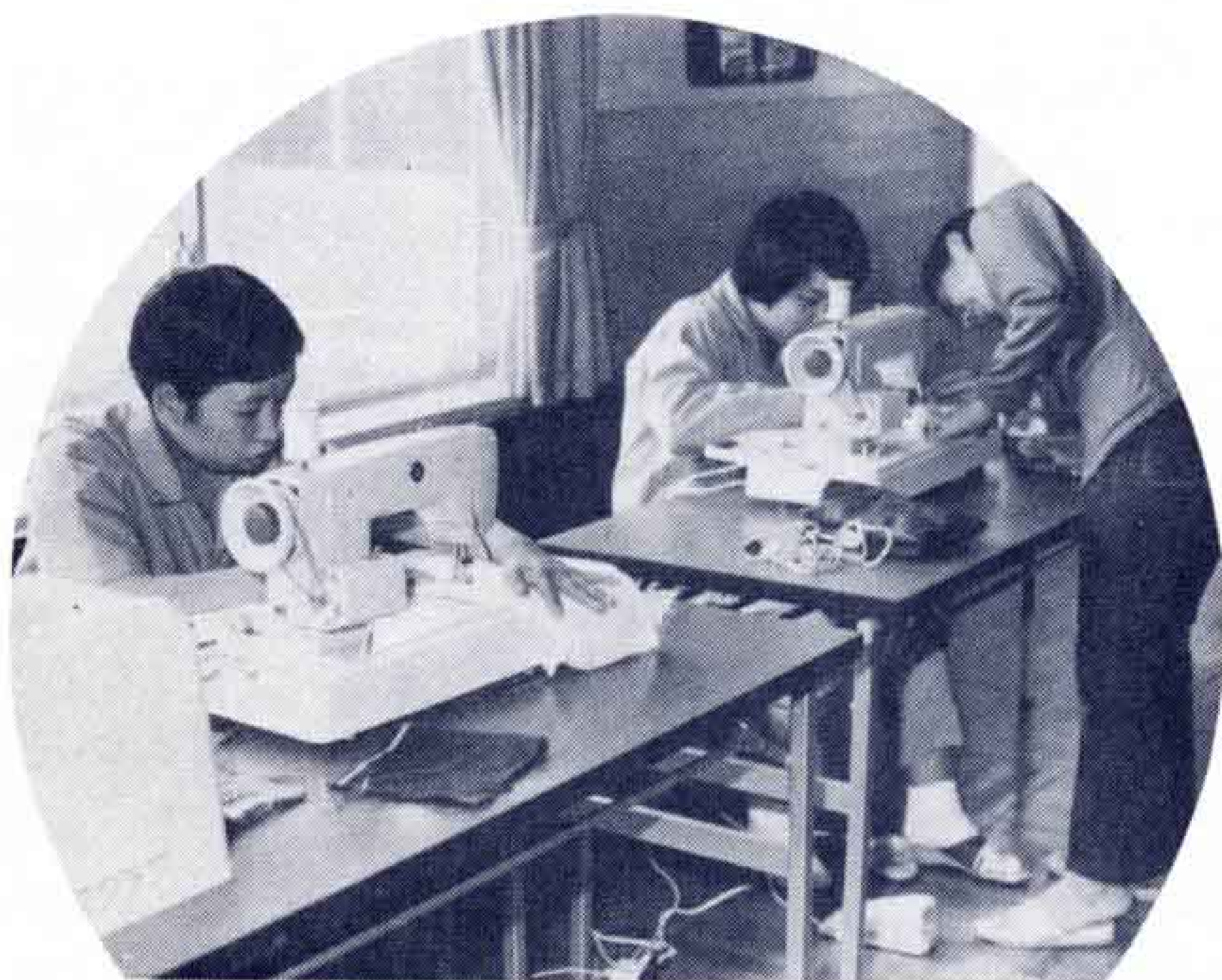
保育日は月曜日から金曜日までの5日間で、療養訓練を木曜日に福祉センターで行ないます。園児の通園は、マイクロバスで毎日送り迎えを行ないます。なお定員は30人です。

くすの木学園

市内の15才以上の知恵のおくれた人たちに仕事を教え、生活の道がたてられるように指導する施設です。開園は昭和45年で、はじめは通園施設だけでしたが、昨年収容施設も完成しました。

作業はトイレットペーパーの加工、製袋、ダンボールの組立てなどを行なっています。定員は収容が30人、通園が20人です。

なお、くすの木学園で作業訓練を受け、卒園して社会復帰し、元気で働いている人もあり、じょじょに成果が上がっています。



県立富士見学園

県内に住んでいる満15才以上の知恵おくれの人に社会生活ができるように訓練を行なうため、昭和39年県が設置した援護施設です。

入所期間は、原則として3年以内で、定員が100人(男60人、女40人)です。入所者を1日も早く社会復帰させるため、生活・職業指導などを通して、共同生活のしきたり、他人との協力習慣をつけます。職業指導科目は、農業科(農耕・園芸・養畜・果樹など)、工作科(大工・紙加工・ブロックなど)、縫製科(和洋裁・手芸・装工芸など)、家庭科(家事・調理・洗濯・作法など)で、必要に応じて科目を変え、能力を伸ばしていきます。



お宅の防災対策は……

5月6日の伊豆半島沖の地震では、一瞬のうちに29名の尊い生命がうばわれてしまいました。地震によって山・ガケくずれがおこり、家屋が土砂の下にうまり、大災害となりました。

もし、同じような地震が富士市の近くで起こったら…。地震に限らず、台風や豪雨など私たちの回りは災害を発生させる要素がたくさんあります。伊豆沖地震を教訓にみなさんももう一度防災対策を考えてください。それでは、今回はガケくずれ災害にまとをしぼって各家庭の防災対策を考えてみました。

がけくずれの おこりやすい所

- ガケの傾斜が30度以上あって、デコボコしているような場所
- 高さが5m以上のガケ、屋根より高いガケは危険度が大きい
- 上部がおおいかぶさっているガケ
- 排水や雨水が大量に集まるガケ
- 擁壁や地盤に割れ目のあるガケ
- 下が岩盤でも、表土の厚いガケ
- 岩がポロポロになっている所
- 山の斜面などを切り崩して造った宅地

ガケくずれのおこりやすい条件としては、強い雨や長雨の後、地震や地震後の雨の時などがあげられます。とくに雨が降り始めてから100ミリを超える長雨の時と、1時間に20ミリを超えるような強い雨が降った時が危険です。



【家のまわりの危険カ所を総点検】



日ごろの注意と心がけ

- ガケ下をけずったり、ガケの上に土を盛るなど、ガケに手を加えることは危険です。
- ガケの上に水をためたり、ガケに水をたれ流しにしないでください。
- ガケのそばに、家などを新築したり、増改築するようなことはやめてください。

なお、各家庭でできる防災対策はまず、周辺の見回りを行ない、雨水などがガケに流れないように水路をつけたり、掃除を行ないます。くずれそうな土砂を取りのぞき、風で地盤をゆるがすようなガケの途中やガケの上の大木は切り倒します。また、ビニールなどでガケをおおい水の滲透を防ぐこともよい方法です。

危険な所は各家庭で補修を

ガケくずれ災害の防止は、本来各個人でやっていただくことが原則です。特に他人へ迷惑をかけることのないようにするのは、必要な義務といえます。

住宅地帯がしだいに山麓地域に移り、宅地造成なども山地を切り開いて行なわれています。建売住宅や分譲地などを購入するときには、災害の危険はないか、現地をよく見てからにしてください。これまでも、土地を買ったが危険な所で、家を建てることができなかつた例もありますから、充分注意してください。



クマやシカもいるよ...

富士周辺の自然や動植物が一目でわかる資料を集めた、丸火自然館がオープンしました。レクリエーションの場、自然研究の場として、おおいに利用してください。

自然館に展示してある資料は、自然界のしくみや富士周辺の地形・林業・生物・気候で、5つのコーナーに別けて、写真、模型、ハクセイなどを使って、わかりやすく説明してあります。

まず資料館に入ると、自然界のしくみがわかるように図解して、見学者に自然の大切さを考えていただき

ます。次のコーナーでは、富士周辺の地形を知っていただくために、富士周辺の模型を置いてあります。富士山の生いたち、開発状態の変化なども写真や解説パネルで見いただきます。

富士周辺の生物コーナーでは、自然に近い状態を作り出し、その中に小鳥や動物のハクセイを入れて、簡単な説明をつけ、できるだけ生きた観察ができるようにしました。

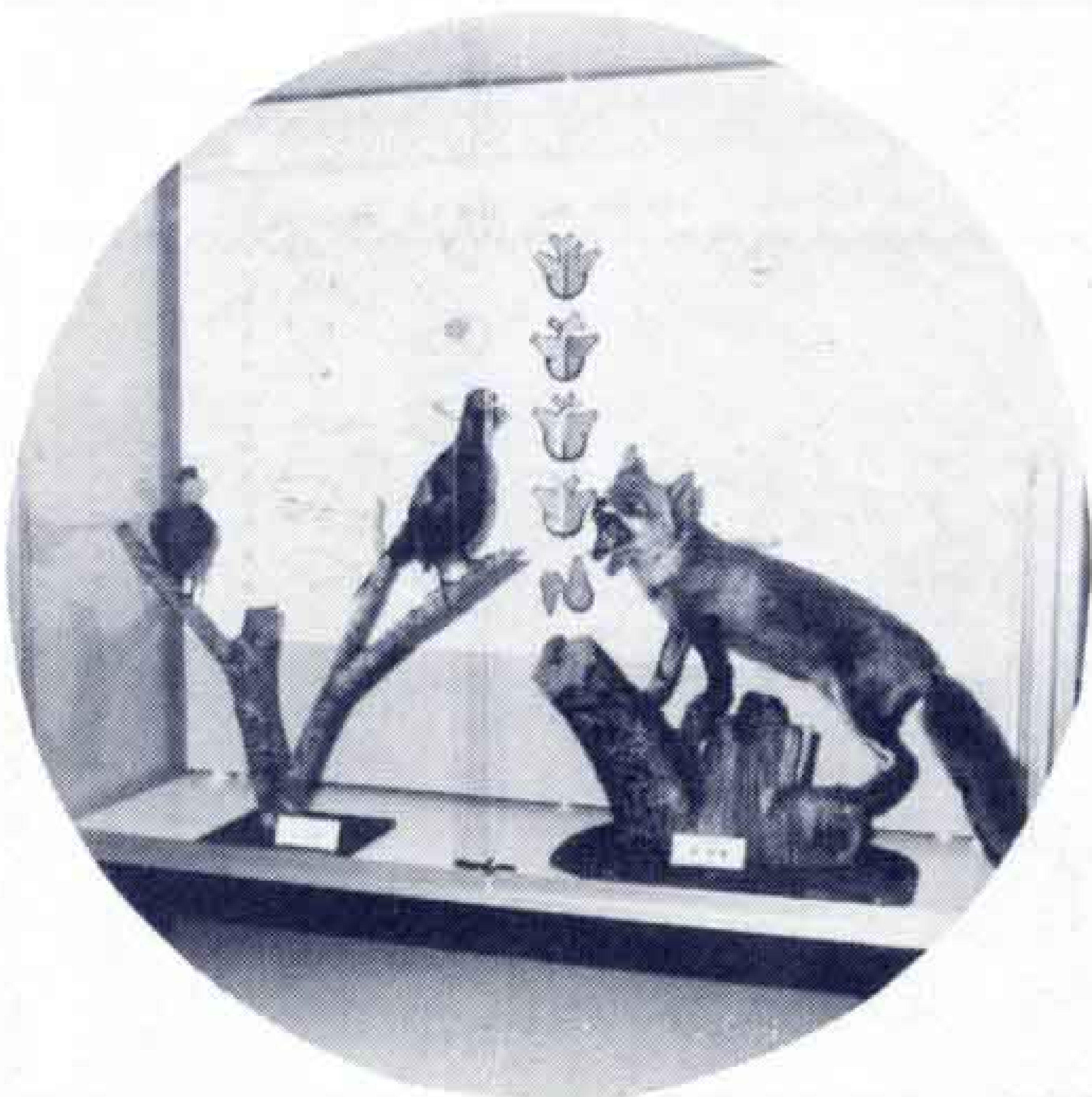
このほか、富士周辺の林業・気候なども写真や解説パネルを使って説明してあります。



富士周辺の林業



富士周辺の地形



富士周辺の生物



昭和48年工業出荷額

6486億8753万円 で県下一に

工業統計調査を昨年12月31日現在で実施しましたが、このほど県下の調査結果が発表されましたので、お知らせします。

昨年は後半の石油ショック、金融引き締めにもかかわらず、全般に年間を通じて内外需要が活発でした。

このような経済動向のなかで、県下の工業製造品出荷額は前年に比べ28.2%増える4兆3921億円となり、昭和41年以降では最高の伸び率を示しました。

富士市においても各部門で上昇が目立ち、6486億8753万円と前年の4788億9338万円に比べ35.5%も伸び、再び浜松市をぬき県下第1位となりました。

県下の出荷額上位5市

48年度出荷額	事業所数	従業者数
富士市 6486億円	1,314	48,361人
浜松市 5847億円	5,045	80,349人
清水市 4980億円	1,406	38,942人
静岡市 3930億円	4,404	48,566人
沼津市 2609億円	1,683	30,341人
県総計 4兆3921億円	27,990	485,650人

出荷額を産業別にみると、パルプ・紙が依然として多く2643億3525万(47年1909億8990万円)で、全体の40.7%を占めています。これに対し他の産業の占める割合は、輸送用機械で19.4%で1258億2323万円(977億6576万円)、化学工業13.2%で85

5億5801万円(670億2529万円)、電気機械12%で777億4683万円(537億2477万円)などとなっています。

事業所数は、1314事業所で前年よりわずか7事業所増えただけです。

しかし、部門別にみると軽工業が772事業所から764事業所に減少し、重化学工業が535事業所から550事業所に増えています

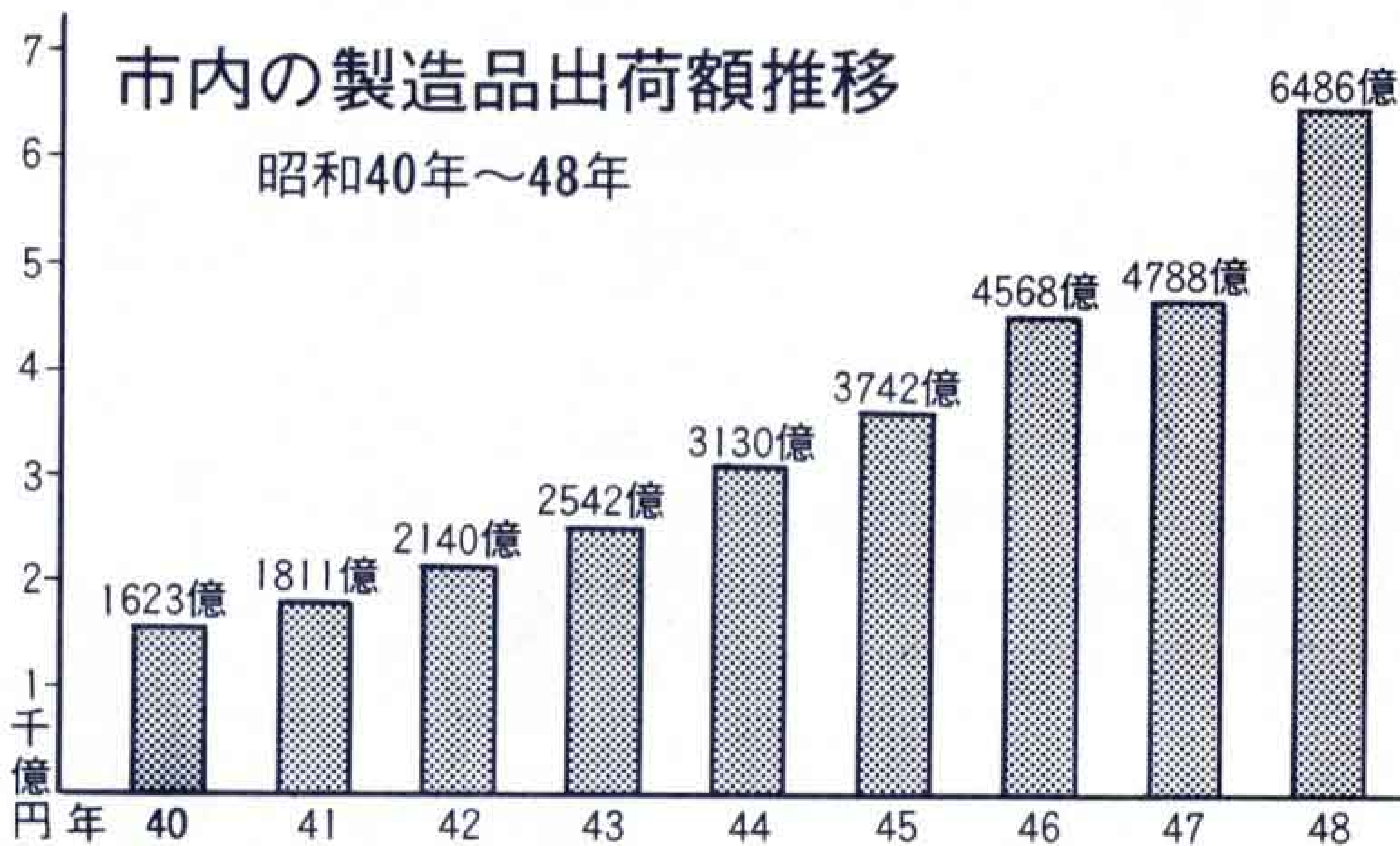
従業者数は、4万8361人で前年より1538人増加しました。産業別ではパルプ・紙が1万8

453人、輸送機械9322人、電気機械4738人、化学工業4666人などです。

なお、1事業所当りの従業者数は約37人です。



【輸送用機械の出荷額は1258億円】



あなたもひとこと

市長に手紙を出しましょう



- 市では、いつでも「市長への手紙」をお受けしています。どんなご意見でもお寄せください。
- 用紙は、市役所、各公民館など市の公共施設にあります。
- 手紙は、切手をはらずに利用できます。
- 回答を必ず出しますので、手紙には住所、氏名、連絡先を必ず書いて下さい



■ 婦人の部で岩松が優勝

第11回富士市バレーボール大会が、5月19日、吉原第2中学校で行なわれました。参加チームは61チームにもものぼり、各部ごとに熱戦がくりひろげられました。各部の優勝チームは次のとおりです。

- 婦人の部 岩松
- 一般男子の部 日本食品化工
- 中学男子の部 吉原1中
- 中学女子の部 鷹岡中

■ 保安林45%を防除

元吉原海岸や田子浦海岸の防風林は45%あり約35000本の黒松が植えてあります。ところがここ数年、マツクイムシによる被害が目立ってきました。このため、海岸一帯の松林を害虫から守るため、一斉防除を行なっています。



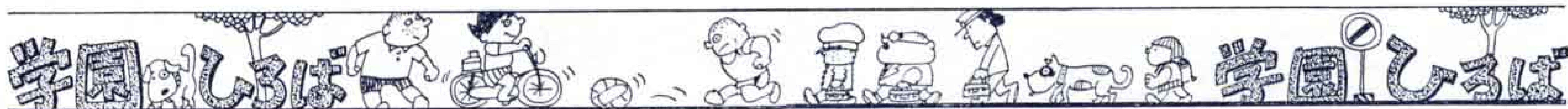
■ 相次ぐ花木の盗難

市民のいこいの場としてしまわれている丸火自然公園や岩本山公園から、さいきん花木が盗まれてこまります。なかには1本ぐらいといって軽い気持ちで持っていく人がいますが、絶対にやめてください。



■ 田子の浦水域の生物などを調査

河川の汚染地区を作製して、今後の環境保全の基礎資料とするため、潤井川や沼川など、田子の浦水域の生物や化学的な調査を行なっています。調査は東海大学の工藤助教授を中心に11月まで行ないます。



ぼくのおとうさん

神戸小学校 6年 渡辺明善

うちのおとうさんは、やさしいけれども、おこるときは、すごくおっかない。でもそれは、ぼくのためをおもっているのだ。

おとうさんは、会社がやきんのとき、昼はどっかにいって、夕がた6

時ごろからねるので、ねる時間がすくない。8時45分ごろ家をでる。ぼくは、おとうさんが、ねむたそうに家を出ていくとき、もっとねむらせてあげたいと思う。

おとうさんは、毎朝、朝の会へい

っている。それは、おとなの人たちが集まって、いろいろやることだ。おとうさんは、その人たちの中でいちばん声が大きいそうだ。家でも「いただきます」と言うときに、小さな声だとおこります。

おとうさんは、ふつうの人とすこしちがうところがあるけれど、とてもやさしいです。



少年少女合唱団が発足

富士市少年・少女合唱団の結団式が、さきごろ吉原市民会館で行なわれました。団員は小学校4年生から中学生までの80人で、333人の応募者の中から選ばれ

ました。練習は毎水曜日の午後5時から市民会館で行なっています。第1回の発表会を7月に行なう予定で、みんなおすお張り切りで。

富士山の雲と天気 ③

はなれガサは好天の時に…

「カサ雲が出ると、天気が悪くなる」といわれていますね。だけど、中には天気がよくなる時にだけ出るカサ雲もあります。好天の時にだけ出るものは日和ガサ（ひよりガサ）と呼び、はなれガサやつみガサがこれに含まれています。

はなれガサは、山頂の上空に、はなれてカサ雲ができるもので、冬場に多く現われます。



じしん

元吉原小学校

小林しのぶ

国語の本をひらいたとたん
ガラガラとゆれた。
前の方のだけかが、「じしんだ」といった。
先生は、「じしんだ、すぐつくえの下にかくれなさい。」とお声で言った。
だんだんゆれが大きくなって、ガラス戸が、ガタガタゆれて、温度けいは、ゆらゆら。
えんどう君が、なきそうな声をだした。
先生は、すぐ、みんなをにがせるように、戸をあけて机の下へもぐった。
電気がガラガラゆれている。
天じようがおちそうだ。
しばらくおそろしい時がつづいて、じしんはうそのようにさつた。